

会議記録簿

|     |   |    |                           |
|-----|---|----|---------------------------|
| 件名  | 令和7年度第3回恵庭市生涯学習推進協議会<br>(社会教育委員の会議・公民館運営審議会 合同会議)   |    |                           |
| 日時  | 令和7年8月27日(水) 14:00～16:10  | 会場 | 市民会館(大会議室)                |
| 出席者 | 生涯学習推進協議会委員<br>松田、井上、中山、平井、高橋、水野、茶園、根深、神田、八木橋、野藤、徳家、吉田、大塚、小川原、熊野、藤岡<br>(欠席者)安中、佐藤、渡辺<br>市教委<br>＜社会教育課＞<br>黒氏課長、津田主査(社会教育主事)、飛弾野主事 | 人数 | 委員 17名<br>市教委 3名<br>計 20名 |

概要

1. 開会

2. 会長挨拶

松田会長より挨拶

3. 【議題】

(1)第5期恵庭市生涯学習基本計画の検証内容について・・・津田主査より説明

- ・第5期計画の検証結果(成果と課題)・・・委員了承
- ・生涯学習とはなにか
- ・生涯学習基本計画の意義

(2)第6期恵庭市生涯学習基本計画の基本理念・基本目標について

グループワーク

①生涯にわたるあらゆる機会の学びとは具体的にどのような学びがあるか。

②①の学びはなぜ必要なのか。

※グループワークの内容については別添資料参照

グループワークの様子▼



#### 4. その他

- ・令和7年度評価対象事業のご案内

#### 5. 今後について

第5期計画の検証については一定の成果を得られた部分と引き続き課題となっている部分を委員全体で確認し、了承を得たものとして次期計画に反映させていく。

今回のグループワークで交わされた意見は、恵庭市民に必要な学びとして次期計画に掲載されるとともに、その学びの必要性については計画の肝である理念に関係してくる要素として事務局において整理し、次回会議の際に委員に確認を行う予定。また、次回会議では市民が学びを得るために必要だと思う環境・仕組みについて考えるグループワークを行ない、基本目標につなげる。次回会議は9月17日（水）14：00からを予定。

以上

# 第3回会議グループワークまとめ

- 生涯にわたるあらゆる機会の学びとは具体的にどのような学びがあるか

## ①乳幼児期

- ・ルールやマナー ・ノーマライゼーション ・コミュニケーション ・幼保施設 ・運動発達
- ・体力向上 ・地域との関りを実感する場

## ②小学生

- ・コミュニケーション ・ICT ・安全な遊び場所 ・命を守る安全学習 ・スポーツ ・性教育
- ・読み聞かせ ・食育 ・SNSの使い方指導 ・情報教育 ・本を読む ・地域の人が目をかける
- ・放課後の児童クラブ ・少年団・習い事 ・体力向上 ・多様性を学ぶ機会 ・経済状況関係なく学べる場 ・地域格差なく学べる場 ・地域との関りを実感する場 ・恵子連 ・社会生活に基本的に必要なことを学ぶ ・様々な体験

## ③中・高生

- ・青年法政大学(よりよい選挙) ・税金学習 ・自分の住んでいるまちについて ・地域でのつながり(すずらん踊り、イベント) ・障がい者への心のバリアフリー教育 ・文化(歌・アート・踊りなど)とスポーツ ・選挙についての学び ・リスク管理学習 ・読書週間 ・本を読む ・クラブ活動
- ・地域との関りを実感する場 ・経済状況関係なく学べる場 ・多様性を学ぶ機会 ・恵子連
- ・社会生活に基本的に必要なことを学ぶ ・様々な体験 ・ボランティア体験とまちへの提言
- ・社会人との交流、地域に関心を持つ ・社会の取り組みに参加すること

# 第3回会議グループワークまとめ

- 生涯にわたるあらゆる機会の学びとは具体的にどのような学びがあるか

## ④若者

- ・他文化・他言語理解 ・リスク管理学習 ・選挙についての学び ・婚育学習 ・市民活動への参加
- ・本を読む ・人を知る ・恋をする・失恋する ・地域とつながっている
- ・ボランティア活動 ・地域との関りを実感する場

## ⑤社会人

- ・市民活動への参加 ・ふるさとの歴史学習 ・地域の町内会とのかかわり方 ・健康講座 ・行政文化学習
- ・金融リテラシー ・詐欺対策学習 ・本を読む ・趣味を持つ ・学校の役員 ・仕事
- が学び、発表の場 ・イベント運営への参加 ・語学・文化・外国人との交流 ・意見が言える環境の整備
- ・資格・スキルをweb動画で学ぶ ・市民活動への参加

## ⑥子育て中

- ・家庭教育 ・教育の変化について ・妊婦教室 ・育児支援学習 ・育児についての相談・会話の場
- ・親が社会に出ていく、支えるシステム ・親子文化 ・親子で体験できる ・親も一緒に学ぶ
- ・親の学びの場 ・仲間づくり ・子育て支援 ・子どもが好きなスポーツで頑張れるよう、栄養教室に参加する

# 第3回会議グループワークまとめ

- 生涯にわたるあらゆる機会の学びとは具体的にどのような学びがあるか

## ⑦定年後

- ・次世代につなげる活動
- ・健康寿命長期化学習
- ・詐欺対策学習
- ・健康講座
- ・本を読む
- ・長寿大学
- ・収入にも繋がる学びの場
- ・高齢者など健康・体づくり講座に参加し元気に生活する
- ・文教大学の公開講座に出向く

## ⑧外国人

- ・日本人とのふれあい言葉
- ・日本人のマナー習慣
- ・日本のゴミ出し学習
- ・日本文化の尊重
- ・日本語
- ・お互いの文化に関する交流
- ・日本の歴史文化学習
- ・施設訪問
- ・歌をうたう
- ・絵本を読む
- ・語学・文化・外国人との交流
- ・外国人のスポーツ

## ⑨障がい者

- ・行きたい場所に自由に立ち寄れる機会
- ・外出の時の安全といつでも関われる機会が持てる
- ・地域になじんでもらう、交流の機会
- ・インクルーシブ、スポーツ学習
- ・スポーツを通じたまちづくり
- ・小学生の頃の障がい者学習

## ★全体共通

- ・読書
- ・公民館、地域事業
- ・サークル活動
- ・市民講座
- ・障がいスポーツ
- ・スポーツ競技の審判
- ・専門による指導
- ・地域行事・事業
- ・町内会
- ・防災
- ・多種多様な体験活動の場
- ・市民の目に自然に触れる発表の場
- ・SNS
- ・情報提供の在り方

# 第3回会議グループワークまとめ

- それぞれの学びはなぜ必要だと思うか

## ①乳幼児期

- 命を守る
- 安心安全
- コミュニケーション力UP

## ②小学生

- 道徳教育
- 仲間のつくりかた
- コミュニケーション力UP
- 安心安全
- 見守り
- 孤立化を防ぐ
- 子どもは学校の先生としかかかわりない、だから地域の人とかかかってほしい
- 経験格差や情報格差をどううめるか
- 先生、親、住居者への学び
- 多様化するニーズにあった環境づくり
- 外国人との距離感

## ③中・高生

- つながり
- 自分の視野を広げるため
- まちの持続可能のため
- ふるさと教育
- 恵庭を知って「ふるさと愛」を育てる
- まちづくりの人として育つ
- 情報はネットからもとれるが、経験者からの話が信頼性ある
- 中高生の居場所
- 大人とどう関係を作っていくかをするため
- 地域と関わることで、地元愛が育つ

# 第3回会議グループワークまとめ

## • それぞれの学びはなぜ必要だと思うか

### ④若者

- ・生活について学ぶ
- ・豊かとは何かを考える力
- ・少子化対策
- ・もっとボーダーレスに
- ・当事者として政治参加するため
- ・本は心を豊かにする
- ・知らない世界を知れる
- ・人を知り、社会に出たときにおどろかないように

### ⑤社会人

- ・自分を育てる学び
- ・より良い社会生活のため
- ・いくつになっても、初めて知ることがある
- ・現役時代からの積み重ねが定年後に生きる
- ・ネットワークがひろくなる
- ・イベント運営に参加することで人脈の広がり、人を動かすこと、人を活かすことの学びがある
- ・意見が言える・環境・雰囲気を整っている

### ⑥子育て中

- ・親が健康な心になるため
- ・孤立化を防ぐ
- ・親はふたりで育てるという意識

# 第3回会議グループワークまとめ

- それぞれの学びはなぜ必要だと思うか

## ⑦定年後

- 定年年齢が遅くなっている
- 悠々自適の時間が減っている

## ⑧外国人・⑨障がい者

- 誰一人とりのこさないため
- 尊重し、その人を知ることで、理解を広める

## ★全体共通

- 関わり合うということを知る
- ライフスタイルにあった機会
- 参加しやすい動機
- 安心の暮らし
- 次世代のつながり
- 自然に目に入る文化
- 関心のない人にも届く
- 生涯学習は心のゆとり(幸せ・安心)
- あらゆる課が考える(小田原市)
- 恵庭市のすべての課を串刺しに
- 今の生活から一歩出る
- 考えることやめない
- 地域・社会・行政が環境整備する